

登録日	2010.12.17
再登録日	2014.07.08

がん化学療法レジメン登録書

1 枚目

登録番号：10-102

がん種/レジメン名				実施区分	適応疾患分類	抗癌剤適応分類	
KRAS 遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 ベクティビックス療法				点滴静注	日常診療（治療）	進行・再発・転移癌 1st、2nd、3rd、4th	
1 クールの投与期間 14 日/クール				備考（最大投与回数等）KRAS 遺伝子野生型であること			
Day	投与順	薬品名（成分名）	投与量	単位	溶解液・液量	投与時間	投与ルート
1	1	ベクティビックス	6	mg/kg	生理食塩液 100mL	60min	Div.
	※ベクティビックス投与時はインラインフィルターを使用すること						
	2				生理食塩液 50mL	60min	Div..

【投与開始基準】 ※大腸癌治療ガイドライン2014年版、
ベクティビックス適正使用ガイドより

【投与量の減量基準】 ※ベクティビックス適正使用ガイドより

項目	基準値及び症状
白血球	≧3500/μL
血小板	≧100000/μL
T-Bil	<2.0mg/dL
AST 又は ALT	<100IU/L
血清クレアチニン	≦ULN
PS	0～2
重篤な合併症（特に、 腸閉塞、下痢、発熱）	なし
KRAS 遺伝子	野生型
間質性肺炎 肺線維症	合併がない、又は その既往がない
妊娠	可能性がない

ベクティビックス
Grade3 以上の皮膚症状発現で投与延期。
6 週間以内に Grade2 へ回復した場合は Grade3 以上の皮膚障害の出現回数に伴い減量し再開。
・1 回目:6 mg/kg で再開 ・2 回目:4.8 mg/kg で再開 ・3 回目:3.6 mg/kg で再開 ・4 回目:投与中止

【投与量の増量基準】

・なし

【特に注意すべき副作用と対策】

infusion reaction・・・ベクティビックス投与後、少なくとも1 時間は経過観察
皮膚症状・・・保湿剤による予防、症状出現時は投与延期及び減量もしくは中止、ステロイド外用剤、
ミノマイシン内服等(当院での取り決め)
間質性肺炎・・・息切れ、呼吸困難等現れた場合は、早めに呼吸器内科医へ相談
下痢・・・症状に応じ、高用量ロペラミド療法、内服もしくは点滴静注にて抗生剤の投与を考慮
電解質異常・・・少なくとも3 か月に1 回の血清中電解質モニタリング推奨

※当院作成の【外来化学療法施行患者における緊急時対応マニュアル】を参照すること